

「広報いせ」特集記事制作プロジェクト

プロジェクト発足当時から伊勢市をメインとして活動しているため、伊勢市のことについて考え、学ぶことができます。最近では伊勢市消防本部(消防予防課)の方々や、投票率UPプロジェクトの皆様と連携して特集記事の作成に取り組んだり、紙面作成だけでなく、自ら率先してフィールドに赴きスポーツGOMI参加者として参加しながら自分で感じたこと、また取材などを通してわかったことなどをわかりやすく伝えるよう心がけながら取材を行っています。

* TEAM DATA *

メンバー数：16名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市情報戦略局広報広聴課
担当教員：池山敦（教育開発センター）
活動年度：H30,R01,R02,R03



月別活動

(5月) 全国広報コンクール入選、伊勢市市役所にて報告

(6月) 8月号に向けてのミーティング・取材・撮影・初稿校正

(7月) 9月号に向けての取材・撮影・初稿校正

(8月) 11月号に向けての取材・撮影
オンラインにて9月号の完成報道発表会への参加

(11月) スポGOMIに参加&取材・撮影
三重テレビのニュース番組内で本プロジェクトの活動紹介の為生出演



(12月) 3月の火災予防特集記事制作取材
1年生に向けてプレゼンテーション

(1月) 3月号の初稿校正

(2月) みえまちキャンパスに参加(予定)

(3月) 全国学生交流会に参加(予定)

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年も新型コロナウイルスの影響を受け、全員と顔を合わせる形でのミーティングが難しかったですが、特集記事制作に向けてコミュニケーションアプリを用いてアイデア出しを行なったり初稿校正を行うなど様々な対策をしてきました。また、新型コロナウイルスの影響により増えた「おうち時間」などを楽しんでもらうための特集記事の制作を「広報いせ」の複数号等で展開することとなりました。これらが評価され今年も「全国広報コンクール」にて2年連続入選を果たすことができ、5月に伊勢市長に報告させていただきました。

6月は二見浦海岸でスポGOMI会場の下見とミーティングを行いました。これらの活動は新聞などのメディアに掲載していただき、SDGsについて理解を深めることができました。

7月は投票率アッププロジェクトとコラボし10/31に伊勢市長選挙、伊勢市議会議員選挙の投票率向上に努めました。また9月号の取材・撮影を行い、8月には完成了9月号の完成発表会にオンラインにて参加しました。11月にはスポGOMIに参加し紙面作成だけでなく、自ら率先してフィールドに赴き参加者として参加しながら自分で感じたこと、また取材などを通してわかったことなどをわかりやすく伝えるよう心がけながら取材を行いました。

12月は今年も全学部の1年生が必修で受けている「伊勢志摩共生学」でこの活動について知つてもらうべく、プレゼンテーションの撮影を行いました。このプレゼンテーションは3年生が主体となって行い、プレゼンテーション力を身につけることができました。

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりCLL活動を思うように行なうことができませんでした。しかし、オンラインミーティングや取材・撮影をスムーズに行えたことは実施主体様と担当教員、大学のサポートがあったから行なうことができたと考えています。本当にありがとうございました。今後も皆様のサポートがあることへの感謝を忘れず活動に力を入れていきたいと思います。

活動を通して学んだこと

多種多様な職種の人との関わりの中で、人と人との絆、協力する喜びと協力することの大切さを学びました。このコロナ禍の中で、市役所の方も活動が困難な中、私たちと協力してくださり、広報いせの特集記事制作の取り組みを進めていくことに成功しました。このことから、コロナ禍だからこそ感じる人との絆、協力することの大切さを身をもって実感し、これから先の人生で活かすことができるような能力を身につけることができました。

実施主体からのコメント

**伊勢市情報戦略局広報広聴課
ご担当者様**

デジタル社会が進む中でも80%を超える市民の皆さんのが伊勢市の情報を、53,400部発行の広報紙「広報いせ」から得ています(市民アンケート結果より)。の中でも表紙を含む特集記事は、広報紙の顔であり、単に市の「お知らせ」だけではなく、「よりしっかり思いを届けるもの」「まちの魅力を届けるもの」との認識を持って制作する使命があります。また、読者の皆さんにもその思いを伝えるためには、つくっている自分たちが楽しくやりがいを持って企画や取材をすることが大切です。

プロジェクトメンバーの学生の皆さんはとても真面目に一人一人がこのプロジェクトの推進のために時間を充て、取り組んでくれています。

また、現在は近隣市町との合同特集や他媒体・他のCLLプロジェクトとの連携にもプロジェクトメンバーとともにチャレンジし、「キラリ」と光る作品をつくり続けています。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

1年間お疲れ様でした。コロナ禍での活動も引き続き継続できてよかったです。コロナ禍といえども、社会の動きを止めることはできないので、できる方法を模索していく必要があると思います。引き続き、市民のみなさんに確かに有意義な情報を届けて、市広報のお仕事に学ばせていただきましょう。これからも期待しています。



成果物／制作物

●伊勢市ホーリー：継続的・連続的な皇學館大学生との新型コロナウイルス対策プロモーション（令和2年度の取り組み）
https://www.city.ise.mie.jp/shisei/koho_kocho/koho/2017/1003833.html

●ZTV伊勢Youtube動画：伊勢特集2月ver2「身边にある火災から命を守る～火災実験と放水訓練～」
<https://www.youtube.com/watch?v=A0rUnghpico>



●伊勢市長選・市議選啓発チラシ

●広報いせ
(令和3年8月1日号)